

施策・事業	R3年度	R4年度	R5年度	R6・R7年度	令和6年度の取組状況	事業の進捗状況 (A～Eの5段階)	関連する公共交通機関							
							ノッタ ライン	乗合 タクシー	路線バス	ハイ ヤー・ タクシー	自家用 有償運送	その他		
基本方針1	(1) 円山地域乗合 タクシーの運行	実証運行の実施 料金・ルートの再編		本格運行開始 毎年度利用者数や料金収入等の推移を 検証を実施		令和5年6月から本格運行開始となった。 引き続き利用者数や料金収入等の推移を検証 し、改善策を検討していく。	B		○					
	(2) 町内路線網の 検証・再編の実施	前回計画から継続して実施 毎年、町内路線全体の路線網の検証・再編を行う				町内路線全体の路線網の検証・再編、停留 所の移設の検証について継続して実施した。	B	○	○					
	(3) クロスセクター 効果の検証	いわない循環バス 「ノッタライン」に ついて検証	円山地域乗合タクシー、路線バス、 ハイヤー・タクシー等について検証を実施			令和6年度については、ノッタライン、円 山乗合タクシーを含め本町の交通機関を検証 することができなかった。令和7年度以降に 実施するよう、引き続き検討を行う。	D	○	○	○	○	○	○	
	(4) アンケートBOX の設置	前回計画から継続して実施 月に1回程度用紙の回収を行う				本年度3回用紙の回収を行い、アンケート の取りまとめを行った。	B	○	○	○	○			
	(5) 地域公共交通維持・ 改善に向けた新たな 調査票の検討	岩内町地域公共交通活性化協議会にて 新たな調査票について検討・作成		各停留所等に設置 随時、調査項目を検討		新たな調査票の導入に至らず。新たな調査 票の検討・作成について、引き続き検討を行う。	C							
基本方針2	(1) 「バス・タク乗って ガイド(仮称)」 の作成	コンテンツの整理 ガイドの作成・広報周 知	町HPにて周知、バスターミナル等に設置、転入者への配布 ダイヤの変更等あれば、随時修正を行う			町内公共交通に関する情報を網羅的に示し た、いわない公共交通マップ「いわナビ」の 利用を継続。バスターミナルや公共機関等へ 設置や町内転入者へ配布し、広報周知を図っ た。	A	○	○	○	○	○	○	
	(2) 「バス・タクチャ レンジライド!! (仮称)」等の実施	各関係機関との連絡調 整	年1回程度実施、毎年度継続して行う			ニセコバス(株)から情報提供をいただき、 教育委員会と連携の上、令和5年度に実施。 令和6年度未実施。令和7年度は情報収集 し、利用拡大に資する企画の実施を図る。	D	○	○	○				
	(3) 有料広告の設置	情報収集(有料広告実施済みの町村等) 有料広告実施事業者の選定、依頼作業	いわない循環バス「ノッタライン」、円山乗合タク シー 車内に設置			有料広告設置に向けた情報収集を引き続き 実施する。	D	○						
	(4) キャッシュレス 決済の導入	各関係事業者と 検討・予算協議	「ノッタライン」、円山地域 乗合タクシーへ設置、運用開			令和6年2月より、いわない循環バス 「ノッタライン」、円山地域乗合タクシーに 機器を設置し、運用を開始した。今後、利用 の拡大を図る。	A	○	○	○	○			
	(5) 運転免許返納者に 対する取組の検討	各種取り組みの実施 結果は毎年度検証を行う				令和3年8月から事業開始し、交付実績は 令和7年2月末時点で106件となっている。 (R3年度:35件、R4年度:27件、R5年 度:25件、R6年度:19件)	B	○	○	○	○	○	○	
	(6) ノーカーデー の推進	北海道の実施期間とあわせて実施。 広報誌や町HP等を活用して、町民に対して広く周知する				岩内町役場職員に対する周知は実施したこ とから、令和7年度以降は、広報誌や町HP での周知を実施するよう取組を進める。	C	○	○	○	○	○	○	

施策・事業	R3年度	R4年度	R5年度	R6・R7年度	令和6年度の取組状況	事業の進捗状況 (A～Eの5段階)	関連する公共交通機関					
							ノットライン	乗合タクシー	路線バス	ハイヤー・タクシー	自家用有償運送	その他
基本方針3	(1) 商店街連合会との連携	前回計画から継続して実施 円山地域乗合タクシーが本格運行のタイミングで回数券を販売		円山地域乗合タクシー本格運行開始、連携を実施済	回数券販売時におけるたら丸ポイントカードとの連携をノットライン、円山地域乗合タクシーについては、引き続き検討を行う。	B	○	○	○	○		
	(2) 観光面におけるハイヤー・タクシーとの連携	コンテンツの整理ガイドの作成	いわない公共交通マップ「いわなび」を観光施設に設置		町内公共交通に関する情報を網羅的に示した、いわない公共交通マップ「いわなび」を作成し、バスターミナルや公共機関、宿泊施設等へ設置し、広報周知を図った。	A		○		○		
	(3) 既存施設との連携	前回計画から継続して実施 いわない循環バス「ノットライン」等 町内公共交通の停留所を検討する際、各施設と連携			路線延伸、停留所の移設を検討した際に各施設との連携を継続して行った。岩宇地域海岸線開設時の路線延伸について、情報提供を行った。	B	○	○				
	(4) 地域公共交通活性化基金の設置	基金条例の設置 随時基金の受け入れ			令和3年3月に条例を設置済み。 令和6年度においては基金積み立て実績は0件となった。	C	○	○	○	○	○	○
基本方針4	(1) 路線維持のための運行補助の実施	前回計画から継続して実施 運行補助を含め、新たな交通体系（ダウンサイジング等）についても検討			路線維持のための運行補助を継続して行った。 岩宇地域海岸線しおかぜラインが運行を開始した（広域連携）。	B			○			
	(2) 公共交通による市町村情報の発信	前回計画から継続して実施 いわない循環バス「ノットライン」、円山乗合タクシー車内にて継続的に情報発信を行う			キャッシュレス決済利用開始の呼びかけなど、継続して情報発信を行った。	B	○	○				

## 【評価基準】

- A・・・順調に推移している
- B・・・ほぼ順調に推移している
- C・・・やや遅延している
- D・・・遅延している
- E・・・達成困難